

北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 9号 (通巻 No.222)

2006年 7月 25日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので、北海道に関連する海域の予報文および参考となる図をお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。

平成 18 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間：平成 18 年 8 月～12 月

対象海域：日本海

1. 道北・道央海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量：近年平均より少ない。道央は昨年を上回るが、道北は昨年より少ない。

(2) 漁期・漁場：道央中心で期間中頃は低調。

(3) 魚体の大きさ：道央は近年平均並み、道北は近年平均より小型。

道北・道央海域では 7～8 月と 10～11 月に漁獲量のピークがある。6 月の漁獲量は昨年を上回ったが、一斉調査の結果 (浮き魚ニュース 6 号等) では、今年の当海域への来遊量は昨年および近年平均より少ないと判断され、特に道北海域への来遊量が少ない。したがって、今期の漁況は近年平均を下回り、道央は昨年を上回るものの、道北は昨年よりも少ないと予想される。

2. 道南・津軽海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量：近年平均より少ないが昨年より多い

(2) 漁期・漁場：期間中頃は低調

(3) 魚体の大きさ：近年平均並み

道南・津軽海域では例年 7 月が漁期のピークであり、年によっては 10～11 月にもう一つの小さなピークが出来る場合がある。一斉調査の結果や漁況の経過によると、今年の当海域への来遊量は近年平均よりも少ないが、昨年よりは多いと判断される。よって、今期の漁況は昨年を上回るものの、近年平均は下回ると予想される。

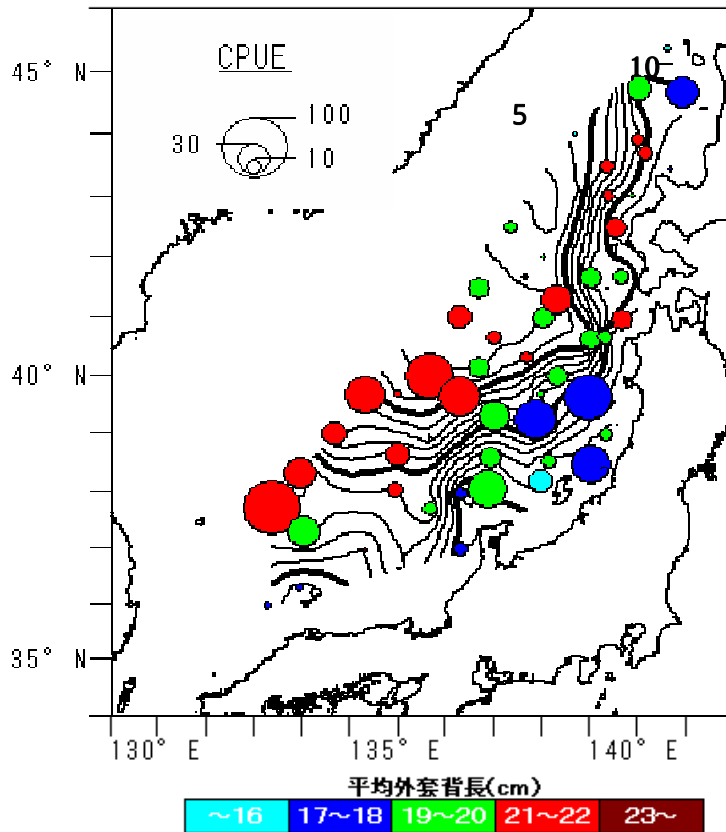


図1 日本海におけるスルメイカの分布状況

の面積は各調査点の分布密度の指標となる CPUE(釣機 1 台 1 時間あたりの採集個体数)を示し、 の色は平均外套背長を示す。水深 50m の水温分布も合わせて示した。

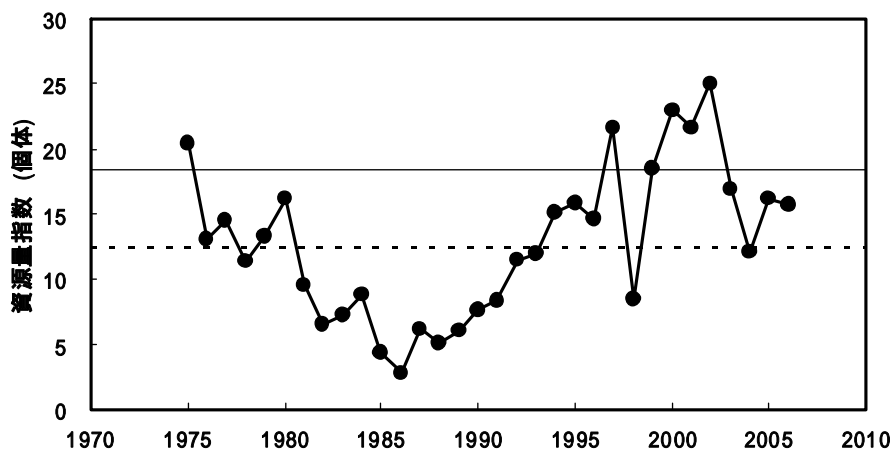


図2 スルメイカの資源量の指数の変化

細線は近年 5 年平均 (19.74)、点線は 30 年平均 (12.59) を示す。

(図は独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所取りまとめ資料より)
 (文責：中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709)